

第1学年 技術・家庭科（技術分野）

1 年間指導計画

学期	月	領域・単元	内容	教科書・教材等
前期	4	材料と加工の技術の原理法則の仕組み	<ul style="list-style-type: none"> 身の回りの材料と加工の技術 木材・金属・プラスチックの特性 材料と加工の技術の工夫を読み取る 	教科書 新しい技術・家庭（技術分野）《東京書籍》 副教材 技術分野 学習ノート《東京書籍》 実習教材 ハイブプレミアム《シャトル》
	5			
	6			
後期	7	材料と加工の技術による問題解決	<ul style="list-style-type: none"> 問題を発見し課題を設定 製作品を構想し設計、製作計画立案 製作 問題解決の評価、改善、修正 	
	9			
	10			
後期	11	社会の発展と材料と加工の技術	<ul style="list-style-type: none"> 材料と加工の技術の最適化 	
	12			
	1			
後期	2	情報の技術の法則原理の仕組み	<ul style="list-style-type: none"> 情報のデジタル化 情報通信ネットワークの仕組み 情報モラルと情報セキュリティ 情報の技術の工夫を読み取る 	
	3			
	3			
後期	3	双方向性のあるコンテンツのプログラミングによる問題解決	<ul style="list-style-type: none"> 双方向性のあるコンテンツの基本的な仕組みを考える 	
	3			
	3			

2 観点別評価・評定・具体的な手立て

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価方法	授業観察（発言・発表） 作品、定期考査、ワークシート レポート、確認テスト	授業観察（発言・発表） 作品、定期考査、ワークシート レポート	授業観察（課題に対して改善・工夫し実践しようとしている態度） ワークシート、発言・発表
評価規準例	<ul style="list-style-type: none"> 材料や加工の技術についての科学的な原理・法則を理解している。 基礎的な技術の仕組み及び材料と加工の技術の安全な生活や社会と関わりについて理解している。 製作状況に応じた、必要な技能が適切に活用できている。 	<ul style="list-style-type: none"> 問題を見いだして課題を設定し、解決に向けての手順を考えている。 構想したアイデアが分かりやすく具体化されている。 製作の過程や結果の評価、改善及び修正について考えている。 情報モラルや情報セキュリティの必要性を理解して問題解決を考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分なりの考え方や捉え方によって、解決策を構想しようとしている。 自らの問題解決とその過程を振り返り、よりよいものへの改善・修正をしようとしている。 学習で取り組んだ内容をSDGsと関連付けて、新たな考え、捉え方を創造しようとしている。
具体的な手立て	<ul style="list-style-type: none"> 専門用語の意味を理解して、授業の中で意識して専門用語を活用する。 各時間の授業での活動をワークシートにまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> 解決する課題に最初から難しいと捉えるのではなく、多面的な見方をしていく。 実習では、状況に応じた工具を正しく安全に使用できることを身に付けよう。 	<ul style="list-style-type: none"> 課題に対して粘り強く取り組み、自らの学習を調整しながら技術を工夫し創造する。 SDGsに関心をもって、学習した内容をつなげていく。

3 アドバイス

- (1) 授業では、生活にある物や社会を支えている技術を科学的な見方、考え方を働かせて学習します。学習したことが自分の生活の周りにあることとの共通点を考えたりすることができるようにしましょう。
- (2) 授業でも学習内容とSDGsと関連付けてやっています。これからの皆さんの価値観の形成に必要となってくるのがSDGsです。今、自分ができることを実践して自分を育てていくことです。